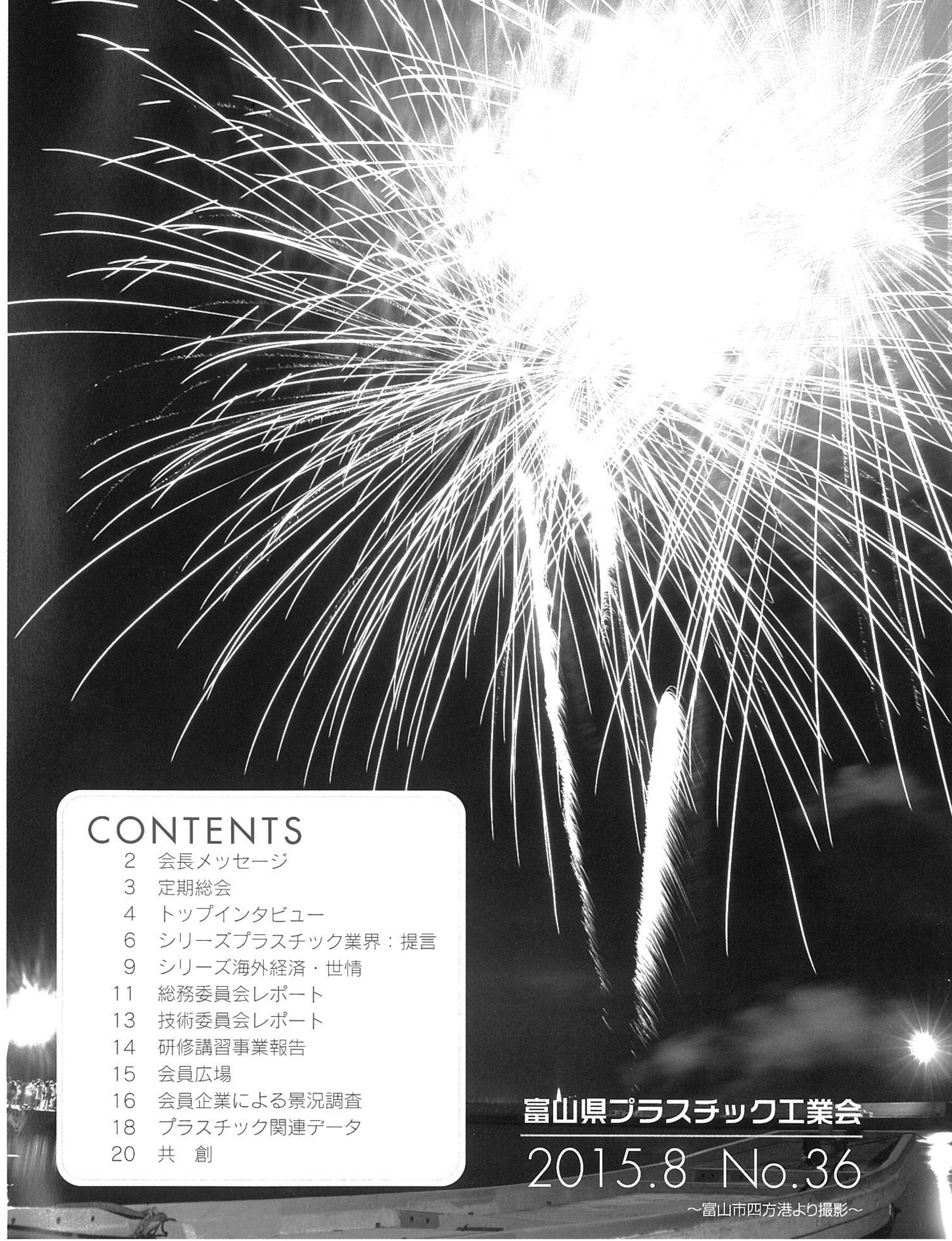


とやま県プラ



CONTENTS

- 2 会長メッセージ
- 3 定期総会
- 4 トップインタビュー
- 6 シリーズプラスチック業界：提言
- 9 シリーズ海外経済・世情
- 11 総務委員会レポート
- 13 技術委員会レポート
- 14 研修講習事業報告
- 15 会員広場
- 16 会員企業による景況調査
- 18 プラスチック関連データ
- 20 共創

富山県プラスチック工業会

2015.8 No.36

～富山市四方港より撮影～

共創

富山まつり「越中おわら踊り」に、富山プラスチック協会（昭和26年12月創立 富山市内に事務局 会員企業21社、会長；(株)リッチェル社長 蓮池 浩二氏）会員企業のメンバーが毎年参加しています。富山まつりは今年で第55回目を数える歴史あるお祭りで、富山市城址大通りを「越中おわら踊り」で練り歩きます。協会は平成7年（第35回）から、20回連続で参加させて頂いています。



ここ数年、踊りの参加者も増え、昨年は20団体1500名以上が参加し、本年も同規模の開催を予定しています（平成27年7月末現在で19団体1400名以上）。参加者は、全員、浴衣と菅笠を着けて踊りますので、その光景は壮観で、踊り手だけでなく、観ている人達にも好評です。踊りの指導もありますので見学者の中には一緒に踊る人もいます。

また、近年は「よさこいとやま」も開催されていますので、元気あふれる踊りを観に見学者も年々増え、昨年の人出は3日間で22万人を超え、富山県最大級のお祭りと言われるようになりました。7月11日の新聞で大手旅行会社が全国都道府県の「祭りを見に行きたい旅先」を尋ねたところ、富山県は全国11位にランキングされていました。人口比率からみても「お祭り好き」な風土があるのかもしれませんが。

協会では、会員企業の親睦と交流を深めるために参加していますが、踊った後、会場をホテルに移して、踊りのビデオを見ながら反省会も行っています。普段はお付き合いのない皆さんが和気あいあいと。今年もいい汗を流します。

編集委員長 門前 昌志

《編集委員会》

- 編集委員長 門前 昌志（阪神化成工業(株)）
- 編集委員 喜多 進（株大樹）
- 〃 奥村三七太（三光合成(株)）
- 〃 柴野 恒夫（株リッチェル）
- 〃 林 延幸（株タカギセイコー）

編集後記

当会では今年の3月末に事務局長の交代があり、新事務局長の私にとって初めての会報編集になりました。まだまだ勉強途中であり、読みづらさにご容赦願います。

3月14日に北陸新幹線 東京・金沢間が開業し、観光やビジネスといった経済的な面に大きな効果をもたらすだけでなく、時間が短縮されることで行動範囲も広がり通勤、通学、居住といった新しい暮らしが生まれつつある。

そして、7月14日の「イオンモールとなみ」の開業、7月16日開業の「三井アウトレットパーク北陸小矢部」とますます注目が集まるこの富山県、これを機に当工業会会員企業の益々の発展に繋がればと願っております。

事務局長 福島（記）

とやま県プラ

富山県プラスチック工業会

（富山技術交流センター内）
〒930-0866 富山市高田529番地
TEL (076) 442-0309 FAX (076) 442-0310
URL <http://www.kenpla.jp> E-mail info@kenpla.jp

プラスチックという可能性を秘めた素材に夢を乗せて

富山県プラスチック工業会
会長

高田 順一



5月28日富山第一ホテルで開催されました総会で富山県プラスチック工業会会長に選任をいただきました。

以前から会長を持ち回り制にし、多くの企業が会長企業として工業会に関与することが、工業会の活性化に寄与するとの意見がありました。そのような観点から今回笠井会長がご勇退され私が指名をいただいたものと承知いたしていますが、50年を越す歴史を持つ当工業会会長が務まるのか誠に不安ではあります。しかし経験豊かな副会長、役員の皆様にご支援いただけるとのことですので、何卒宜しくお願いいたします。

先ずは長年にわたり会長を務めていただきました笠井会長には心から感謝と敬意を表したいと存じます。

総会終了後、会長としての最初の仕事が会員企業の発展に長年貢献された優良従業員の皆様に表彰状をお渡しすることでした。

今回は16名の皆様が受賞されました。長年にわたって職責を全うしてこられ、いまや職場においてなくてはならない大切な存在であると思います。

このように地道で不断の努力が会社の特色ある技術を創出することにつながったことと存じます。

それが企業やひいては工業会の発展、ものづくり富山の地位向上に貢献されたものと確信しています。

皆様の功績に対し心から敬意を表するものです。

当工業会はプラスチックを原料としている製品を製造している企業を中心に、産業機械、原料、金型、販売など関連企業の皆様を含めて90社で構成されています。また製品は自動車部品、家電部品、日用品、エンジニアプラスチック、医薬品用資材などそれこそ多岐にわたっています。販路も全国、海外とこちらも年々広がりを見せています。このような多様性が当工業会の特徴であり、まとまりの良さに寄与していると思います。プラスチックという可能性を秘めた素材に夢を乗せて会員企業は日々活動を展開されています。その勢いを工業会発展の原動力としていきたいと存じます。

皆様の益々のご発展を祈念申し上げます。

今年は太平洋赤道域の日付変更線付近から南米のペルー沿岸にかけての広い海域で海面水温が平年より高くなるエルニーニョ現象が見られ、そのため冷夏ではないかとの報道がありました。梅雨明けを待たずに記録的な暑さになりました。富山はフェーン現象で体温を超える熱風が吹きました。夏は暑く、冬は寒く、季節通りに経過するのが良いようですが、熱中症にならないようご健勝にお過ごしになられますよう祈念申し上げます、ご挨拶いたします。

平成27年度 第54回 通常総会開催



総会：笠井会長挨拶

◇ 総会

平成27年度通常総会が5月28日(木)午後3時から富山第一ホテルにて開催された。はじめに笠井会長より開会の挨拶があり、議長に笠井会長を選出して議案審議に入った。

役員改選にて、新会長として高田会長が承認され、改めて議長に高田会長を選出して議案審議に入った。

- 議案は 第1号議案 平成26年度事業報告の件
- 第2号議案 平成26年度収支決算報告・監査報告の件
- 第3号議案 役員改選(案)の件
- 第4号議案 平成27年度事業計画(案)の件
- 第5号議案 平成27年収支予算(案)の件
- 報告事項

を諮った結果、原案どおり可決承認され、総会審議を終了した。

平成27年度は、新幹線の開業に伴い国の地方創生も相まって注目度も高まっている。当工業会の歴史を紐解くと、共に協力、共に学んで活動してきた経緯から、今後も会員企業が協力して充実した活動を継続していくこととした。

◇ 記念講演

本年度の総会記念講演には、経済産業省中部経済産業局 電力・ガス事業北陸支局 地域経済課長の中川 浩之様が「北陸経済の動向と地域経済産業の活性化」と題してご講演されました。

現在、北陸地区は緩やかではあるが製造業、非製造業とも好調であり、今後の人口減少を克服する地方創生の戦略をはじめ、更なる成長に繋げる「高機能新素材産業創出」の取組みについて熱く語られた。

◇ 懇親会

引き続き懇親会が開催され、高田新会長の開会挨拶の後、会長職を退任された笠井様に当会の発展に貢献された功労を称え「感謝状」と花束が贈呈された。

富山県理事 商工労働部 亀井次長の乾杯のご発声のあと、和やかに歓談に移り各円卓では賑々しく相互に親睦を深め合う中、延澤副会長が中締めをしてお開きとなった。



懇親会

夢が技術を生み、技術が夢を追いかける

東洋化工株式会社

代表取締役社長 **中田 守人** 氏



プラスチックに将来性を感じた青年が、稼業を継ぎ、そして経営者に。ものづくりの好きな中田社長だからできた様々な技術開発を武器とした経営采配と人材教育、そして青年時代の思い出等、大変貴重なお話を聞かせて頂きました。

【インタビュアー：

会報編集委員 (株)リッチェル 総務部長 柴野恒夫氏】

1. 創業の経緯と社業・社歴をご紹介します。

創業は、昭和31年(1956年)です。今の場所ではなく、もう少し魚津よりで、医薬品関係のアルミ容器を製造し、県内、県外、国外に販売しました。その後、国からの要望もあり、合成樹脂のエンジニアリングプラスチックを用いた電気設備資材(配線器具、照明)の製造に、取り組むことになりました。

当初、日本国内に合成樹脂の成形技術は無く、国からの後押しもあり、工業会の皆様と一緒に、ヨーロッパへ成形技術の調査に行きました。展示会などを回っているいろいろなサンプルを集めて、それを参考に新たな技術開発や商品開発を推し進めました。

現在まで生産した製品数は大凡1,900種類、あらゆる樹脂材料を使用しました。現在は各メーカーから約300の生産金型を預かっています。そして、自動車部品関係を中心に電気、電子、通信機部品、配線機器等の生産を行っています。

新技術については、国際特許を取得するように

しており、その内の約8割近くが海外メーカーとの共同開発です。新技術の量産化には新たな設備投資が伴う為、主に海外企業での生産が中心となっています。

2. 創業58年の歴史の中で、特に印象に残っていることをお聞かせください。

当初、私は大学に残って理学関係の研究を続けたかったのですが、いろいろな事情から大学に残ることは諦めて、卒業後は得意であった英語やドイツ語を更に勉強したくてイギリス、ドイツ、その他の国に1年あまり滞在しました。

帰国後、家には戻らず東京で輸出関係の会社に就職していたのですが、父からの強い要請で、ついに稼業を継ぐことになりました。素材、金型の開発には非常に魅力を感じていましたが、仕事は全く畑違いの営業で厳しい毎日でした。今もよく覚えています。

25年程前、自動車業界にその時取り組んでいた医療機器技術力をプレゼンしましたが、全く受け入れて貰えませんでした。

自動車業界には、世界標準、国際規格があり、日本の中小企業単独の提案は全く通用しませんでした。

只、それを機会



に自動車業界への受注に繋がり、現在のメイン製品になっています。

3. 社員教育、人材育成について、どのように進めているかお聞かせください。

採用は常時行っており、採用の最優先基準は学歴、中途採用の場合は職歴も重要視しています。しかし、ある程度の高等教育を受けていれば、当社が求める基準を満たすとみなし、現在は、本人のモチベーションの高さ(「家庭での教育」も大きく影響)を重要視しています。

人材を育成するために会社が学ぶ環境を提供することが大切だと思っています。具体的には、どんどん外に、例えば海外にも出してやること。実践の場での教育が、本人が育つ一番の方法だと思っています。

4. 趣味についてお聞かせください。

今は、腰を痛め無理ですが、若い時は運動が趣味でした。特に陸上のクロスカントリーを行っていました。当時は競技人口も少なく出場するレースでは大抵入賞して目立っていました。その後、トライアスロンにも挑戦しましたが、余りにもハード過ぎて断念しました。他にテニスにも挑戦しました。会社から出場したテニス選手の中には、県大会のダブルスで次賞になった者もいましたが、今はやっておりません。

5. 座右の銘についてお聞かせください。

経営者の方々が座右の銘としている昔の歴史家や戦国の武将などの言葉に共感することがあります。

論語・孔子の「止まりさえしな



ければ、どんなにゆっくりでも進めばよい」、松尾芭蕉の「不易流行」が心に残っています。

徳川家康の「人の一生は重き荷を負うて 遠き道を行くが如し」は、何時も心に刻んでおります。

《インタビュー後書き》

ご多忙の中、長時間にわたり貴重なお話を聴かせて頂きありがとうございました。海外にてイギリス人やドイツ人の気質を学んだこと等々、興味深い話がまだまだあり、予定の時間があっという間に過ぎてしまいました。紙面に限りがあるため、全てを掲載できなかったこと誠に残念に思います。益々のご健勝とご発展をご祈念申し上げます。



中田社長とインタビュアー

会社概要

- ・会社名称 東洋化工株式会社
- ・所在地(本社・工場) 富山県滑川市下梅沢1350番地
- ・会社設立日 昭和31年10月1日
- ・代表者 代表取締役社長 中田 守人
- ・資本金 20,000,000円
- ・事業内容 ①エンジニアプラスチックの精密成形品及び金型の製造販売
②真空成形品の製造販売
③FRP成形品の製造販売
④その他プラスチック・マグネシウム合金の製造及び加工品の販売

ISO 14001
JACO
EC 01 J0344

JAB
EMS Accreditation
RE009

高陵プラスチック工業株式会社
〒933-0824 高岡市西藤平蔵字内川原1312
TEL(0766)63-5656(代)
FAX(0766)63-5658

SAITO
Plastics Molding / Package & Parts

株式会社 斉藤製作所
富山県富山市下大久保61 〒939-2251
☎(076)468-2727 FAX(076)468-3911

三光合成株式会社
SANKO GOSEI LTD.

〒939-1698 富山県南砺市土生新1200
1200 HABUSHIN NANTO-CITY TOYAMA 939-1698 JAPAN
TEL 0763-52-1000 FAX 0763-52-1925
http://www.sankogosei.co.jp/

TAKAGI SEIKO
革新を続けるプラスチック創造企業

株式会社 タカギセイコー
代表取締役社長 八十島 清吉

本社/富山県高岡市二塚322-3 ☎(0766)24-5522(代)

次世代スーパーエンジニア養成コース 「プラスチック産業特論」を開講して



富山大学 研究推進機構 産学連携推進センター長
(大学院理工学研究部 教授) 高辻 則夫 氏

はじめに

2013年8月の「とやま県プラ」No.32の提言で、富山大学が進める企業技術者育成の取り組みとして展開している「次世代スーパーエンジニア養成コース」の概要とともに、平成26年度から新たに開講を予定している「プラスチック産業特論」についてアナウンスさせていただきました。

今回の寄稿では、平成26年度に実施した「プラスチック産業特論」の講義内容と、実際に受講された企業技術者の方々のアンケートを基に、平成27年度の開講に向けてリニューアルした講義内容を紹介いたします。

次世代スーパーエンジニア養成コースの概要

非正規社員の割合が増加し、企業を支える人の環境が大きく変化している中で「技術や企業アイデンティティをいかに継承していくのか」など「ものづくり」に寄せる期待は高く、その意義が再検討されています。人間にとって「ものづくり」が果たす役割は、単に「ものが豊かになる」というだけではなく、「ものづくり」に関わることによって人間が大きく成長することです。富山大学がハブとなって推進する「次世代スーパーエンジニア養成コース」は、先端研究に携わる大学教員の基盤科学技術とベテラン技術者による企業間の壁を越えた実践技術の集大成を有機的に結びつけることで、「専門分野の深み」を学ぶことにとど

まらず「産業界で必要とされる幅広い知識」、「産業界やマーケットの動きに柔軟に対応できる能力」を併せ持つスーパーエンジニアの養成を、まさに地域総がかりで行う「ひとづくり」教育を目指しています。

教育方針として、図1に示す3つの視点に立って、将来の企業の技術を統括するリーダー、世界に通用する専門技術者の要請を掲げています。

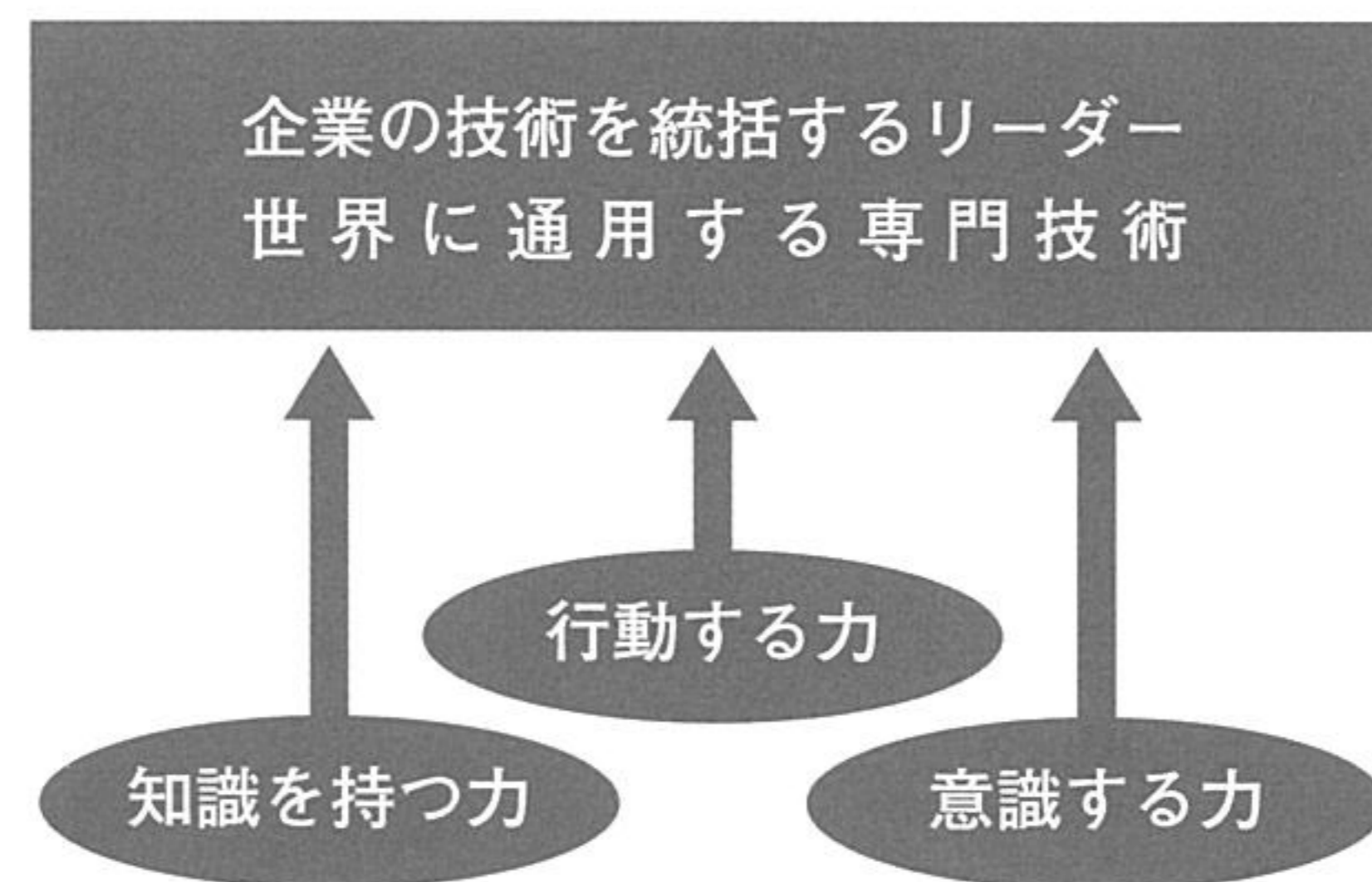


図1 教育方針と目指す方向

本養成コースでは、基礎科学技術の原理・原則を応用例から学ぶ「専門技術論」6科目と、産業別の5科目と幅広い知識を網羅するMOTの合計6科目から企業のプロジェクトXがどのように生まれたかを学ぶ「産業技術論」で構築されています。受講者が働きながら学ぶことを考慮し、各講義は土曜日の昼間のみで、15回の開講を原則としています。また、本養成コースには、MOTを必修として5科目以上を受講する「コース受講」

と1科目から受講できる「科目受講」がありますが、企業の技術を統括するリーダーとなるひとづくりの観点から、「コース受講」されることを期待しています。

プラスチック産業特論について

日本産業機械工業会のプラスチック機械部会「プラスチック機械産業の現状と課題」の発表によれば、日本国内のプラスチック産業の生産量は、長期にわたる景気の低迷などの影響で、1,400万トンを中心として上下しており、ほとんど成長していない状況であり、全体としてプラスチック製品は飽和傾向にあると分析しています。

一方、中国をはじめとした、タイ、ベトナム、インドなどのアジア諸国では、毎年高い成長を続けているが、日本国内の使用量の量的な成長は今後とも期待できないとしています。このような状況の中で、日本のプラスチック産業は、今後どのようにして生き残るべきか。そして、大きく変化する社会ニーズに如何に対応すべきかが大きな命題となっています。

富山県に目を向ければ、製造業のうちプラスチック産業の占める割合は、全国平均よりも大きく、地域の主要産業の一つとなっており、生き残りをかけた展開が、それぞれの企業で図られていると認識しています。しかしながら、個別の企業体だけの対応では限界があり、プラスチック産業に関する課題や現状を総合的に講義するコース開講の要望が、貴工業会を中心に富山大学技術者育成協議会に寄せられていました。これらの要望に応えるべく、平成26年度より「プラスチック産業特論」を開講いたしました。

開講に当たっては、貴工業会の前事務局長の岡田哲朗氏との数回にわたる打合せを経て、講義構成のフローチャートと講義分野を図2のように決定いたしました。

講義のねらいとしては、「次世代スーパーエンジニア養成コース」の目指す指針から以下の通りとしました。

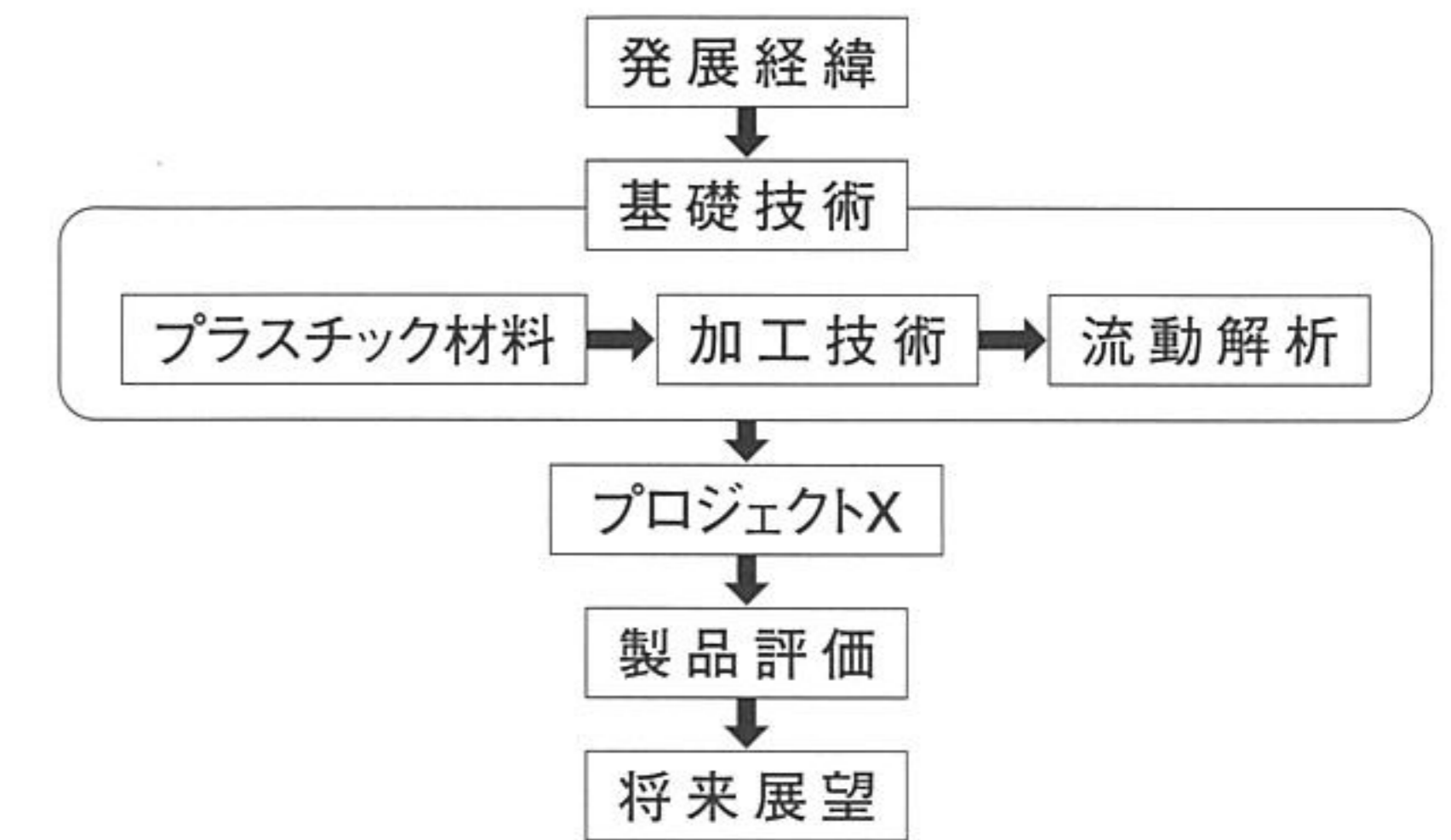


図2 講義構成と講義分野

- ・プラスチック産業の発展経緯と確立された固有の技術に対する理解を深めること
- ・専門分野の深い知識・技術力に加え、他の技術分野の知識を幅広く習得すること
- ・要素技術を理解した上で、複眼的視点からモノづくり全般に活かす能力を身につけること

上記のコンセプトを実現するために、貴工業会から科目コーディネーターとして数名の方に加わっていただいた上で、具体的な講師の選定を進め平成26年度の開講に至りました。具体的な講義内容については、紙面では触れませんが、下記の富山大学産学連携センターのホームページ等で確認をお願いします。

<http://www.3u-toyama.ac.jp/manabina/jyukousei/syllabus/>

受講者の声

平成26年度「プラスチック産業特論」には、貴工業会の会員企業を中心に39名の受講がありました。当初、予定していた講義室の定員をオーバーし、講義室の変更を余儀なくされたほどの盛況でした。これらの受講生の方々に、以下の項目等についてアンケート調査を行い、34名の方からご意見が寄せられました。33名の方が満足（13名）あるいはほぼ満足（20名）と回答されました。主なご意見は、以下の通りです。

- (1) 受講後の満足度
 - ・講義の流れが分かり易く、理解しやすい有意義な

TOYOKAKO
優れた技術と確かな品質でお応えします。
東洋化工株式会社
取締役社長 中田 守人
〒936-0857 滑川市下梅沢1350番地
TEL (076) 475-2125 FAX (076) 475-9471

地球環境創造
TOYOX 株式会社トヨックス
〒938-8585 富山県黒部市前沢4371
TEL 0765-52-3131 FAX 0765-52-4245
<http://www.toyox.co.jp>

阪神化成工業株式会社
〒939-8183 富山県小中163番地
TEL (076) 429-1865(代)
FAX (076) 429-6042
URL <http://www.hansin.co.jp/>

未来への限りない挑戦
プラスチックの総合メーカー
MIYUKI **三ツ木化成株式会社**
代表取締役社長 延澤 泰明
〒939-0351 富山県射水市戸破針原53-14
TEL (0766) 56-9500(代) FAX (0766) 56-9495
URL : <http://www.miyuki-kasei.co.jp/>

メキシコ自動車産業の発展について

2014年のホンダやマツダの完成車工場の稼働開始に伴い、日系自動車部品メーカーの進出が相次ぐメキシコ。将来的にはTOYOTA、BMW、KIA等のメキシコ進出も決定しており、自動車生産で脚光を浴びるメキシコの現状についてレポートしたいと思います。

まず、メキシコ合衆国は、米国に南接する中米に位置し日本の約5倍の国土（1,964千km²）で人口は1億1800万人を有します。首都はメキシコシティで約2,000万人が生活する大都市。連邦共和制で議会は2院制を採用。北部は米国に隣接していることもあり工業が発展しており、南部は農業や観光業が主たる産業でカリブ海の代表的リゾート地であるカンクンもメキシコに有ります。スポーツは圧倒的にサッカー人気根強く、その他ボクシングやルチャ・リブレ（プロレス）も盛んです。食べ物で有名なのはタコスやテキーラでしょうか、コココーラの1人あたりの消費量が世界一とも言われております。



リゾート地 カンクン



メキシコシティの中心街
レフォルマ通

さて、メキシコでは、既にGM、Chrysler、Ford、VW、NISSAN等の自動車完成車メーカー8社が製造拠点を構えています。自動車産業は同国輸出全体の26%、製造業輸出の31%を占めるメキシコ経済の柱

といえる産業へ成長しており、メキシコ国内総生産の3%、製造業国内総生産の17%にあたります。

2014年の自動車生産台数は322万台に達し、世界第7位（中国・米国・日本・独・韓・印に次ぐ）の規模。この322万台の生産のうち、日産が25%、ホンダが4%、マツダが3%と日系メーカーが全体の約3割を占め、日系メーカーの存在感が高まっているところ

です。国内販売台数は、2014年は100万台強で世界第15位の市場規模である一方、自動車輸出では世界4位（日・独・韓に次ぐ）と既に輸出大国となっています。その輸出先の約8割が米国、その他南米や欧州向けにも完成車が輸出されており、完成車の輸出基地として発展を続けています。

自動車製造拠点としての具体的なメキシコの強みは、大きく以下の4点が挙げられます。

①広範な自由貿易圏

NAFTA（北米）・日本を含む45ヶ国とFTAを締結した自由貿易立国である。

②地理的優位性

最大の自動車市場である米国と国境を接しており、また太平洋、大西洋の両方に積み出し港を持つことから、欧州・南米へも輸出可能。

③安価で豊富な労働力

メキシコは平均年齢が27歳。2040年台に人口ピークを迎えると言われており、若く安価な労働力も製造拠点としての魅力である。

④自由な経済

相次ぐ諸改革により、外資参入規制業種を撤廃中。まだドル建て経済で外国為替規制も極めてゆるやかである。

このような背景も有り、日系自動車部品メーカーの進出も相次いでおり、在メキシコ日本国大使館の情報では、進出日系企業は2009年は約400社であったのに対し、2014年には800社を超えこの5年間で2倍の規模となり在留邦人数も9,000人を超えてきています。

- 講義であった。
- 各社の開発事例やクレーム対応など、普通の講演会では聞くことのできない生の声を吸収することができ、大変有意義であった。
- 講義を通して自分の仕事に対する考え方を改めて考える機会になったのでとても良かった。
- (2) 各講義内容及び進め方についての感想、要望
 - 講義中や講義後に講師の方への質問の時間が設けられていること、実際の製品やサンプルを見せて頂くことができたので、とても分かり易かった。
 - 技術的な内容の講義と仕事や開発経緯の説明講義をタイトルなどで事前にわかるようにしてほしい。
 - 材料・成形・加工・評価などそれぞれの立場から、今後のプラスチックのあり方についての考えを教えていただき、大変参考になった。
- (3) 今後実施して欲しい講義内容
 - 樹脂成形方法の種類と現状のプラスチック製品の製作方法、割合などを日本と海外で比較した内容が聞きたい。
 - プラスチックの製造からリサイクル状況などの最終形態までの現在の流れを知りたい。
- (4) 受講前後で仕事に対する意識の変化
 - 顧客満足が第一であることを忘れずに業務にあたらうと強く意識した。
 - 悩んでいるのではなく、実際に行動してみるこの大切さがわかったのもっと積極的にいろいろなことに取り組んでいきたいと思った。
 - 単に与えられた仕事をこなすだけでなく、自ら進んで課題に挑戦していこうと思えるようになった。
 - 毎回、講義を受ける度にモチベーションが上がり、一週間でマンネリ化した気分を前向きにする効果を実感した。
- (5) 次年度以降の受講推薦の是非
 - 全員の方から推薦できるとの感想をいただきました。
 - 何より県内プラスチック業界横断企画という画期的講座なので受けたくないという選択肢はない。
 - 基礎的な講義から応用的な講義、普段の仕事でも活かせる内容のものが多く、プラスチック関連業務に携わり始めた方にも、携わって長い方にも有用な講座だと感じた。

- ・他社の方とコミュニケーションを取る良い機会
- (6) 工場見学に対する受講者の感想
 - 本養成コースの目玉企画として、業界横断の工場見学があります。同業他社の工場見学にも積極的です。
 - 普段見せてもらえない所まで開示してもらえたので、大変貴重な体験をすることができた。
 - 講義される企業へ工場見学に行くことができたので、どんな製品をどんな方法で製造されているかを知ったうえで講義を聴くことができ、より講義の理解も深まった。

受講者の声を受けて

受講者にとっては、ライバル企業の話聞くことは自分達の技術に自信を持つことにもなる一方、足りない部分に気づいたりもすることもアンケート結果から伺えます。それが結果的に互いに切磋琢磨し、地域全体のレベルアップに繋がれば、本養成コースの目的の一つは、クリアされることとなります。成功の前には必ず失敗があり、たゆまぬ努力を積み重ね、成功した技術を日々進化させなければ、成功ではなくなってしまふことを学ぶことも重要と考えています。平成27年度も11月14日から「プラスチック産業特論」が開講されます。今年度も講師の方々が、自らの体験談を惜しむことなく熱く語り、必ずやその姿が受講者にやる気と考える力を与えることになると思っています。

コース受講の成果が目に見えるようになるには時間がかかるかと思いますが、かつて受講した人が、将来、講師を務めるようなスーパーエンジニアとして育って来ることを期待して筆をおきたいと思えます。



図3 工場見学の1コマ

特に中央高原エリア（Bajio地区）を中心に日系企業の進出が増加中であり、近年は自動車部品製造の1次メーカーのみならず、2次メーカーの進出も進んできているところだ。

自動車部品のサプライチェーンの拡充が急速に進んでいますが、その一方で製造拠点として多くの課題を抱えていることも認識しておく必要も有ります。

①人材の確保

安価な労働力が魅力である一方、管理職やエンジニア層の確保は困難でその人件費は先進国並みである。

②割高な生産関連コスト

特にメキシコ国内ロジスティックコストは、外資参入規制業種であり競争も乏しく総じて高い。保管や輸送中の事故・盗難も頻発しており、その対応コストや保険料の上昇もある模様。

③サプライヤー網の未発達

鉄や樹脂原料等の素材原料産業が不足しており、輸入原料に頼らざるを得ない傾向が強い。地場部品メーカーも日系自動車部品メーカーが要求するレベルに達していない。

④治安に対する不安

Bajio地区では日系企業の増加に伴い、日本人を狙った車上狙いやひったくり等の軽犯罪の増加。また、メキシコ国内の一部の地域では麻薬抗争が発生するところもあり、一般人が巻き込まれるケースも有る。

TOYOTAがメキシコで2019年に新工場を設立し、小型車カローラを20万台/年規模での生産を発表しており、今後も日系自動車部品メーカーの進出が続くことが予想されます。

また、BMWやダイムラー等の欧州勢や韓国勢の完成車メーカーの進出も既に決定しており、自動車生産台数は2017年には400万台、2022年には500万台を超えと言われています。

また、メキシコの自動車生産の特異な点は、高級車からコンパクトカーまで幅広いモデルが製造される見通しであり、その点がアジアの各生産拠点と異なる点とも言えます。

日系自動車部品メーカーが得意とする高品質で高付加部品の市場性もますます拡大し、かつ日系メー



マツダメキシコ新工場



カーが米国系や欧州系の完成車メーカーともビジネスを創造できる可能性がある点で、ますます魅力的な自動車製造拠点へ成長を遂げるのではと個人的には考えています。

北米向けを中心に輸出に依存していることから北米の景気動向に大きく左右されることは常に念頭に置いておく必要はありますが、自動車生産・輸出基地として発展を続けているメキシコに今後も更に注目が高まるのではないのでしょうか。

（提供：日系商社）



ケレタロ市街に掛かる水道橋（世界遺産）



メキシコのピラミッド（世界遺産）

Richell 暮らしに笑顔を咲かせます。

株式会社リッチェル

富山市水橋桜木136 〒939-0592
TEL(076)478-2155 http://www.richell.co.jp

園芸用品・ペット用品・ベビー用品・ライフケア用品・家庭用品・業務用品・環境エコ用品・エクステリア用品・工業用品・バイオ関連用品等の製造販売

（広告は、企業名の50音順に掲載しています）

総務委員会レポート

労務研修会

●平成26年度 第3回労務研修会

平成27年1月27日（火）に平成26年度第3回目の労務研修会を開催しました。労働関係改正法に関する内容で、1つめは「労働契約法」の中の「有期雇用労働者特別措置法」で、高度専門労働者や定年後引き続き有期雇用される労働者の契約に関するもの、2つめは「パートタイム労働法」で短時間労働者（パートタイマー）の均等・均衡処遇の一層の推進を図るもの、3つめは「労働安全衛生法」の中のストレスチェック制度及び受動喫煙防止対策の推進に関するものです。

新しい年度のスタートに向けて、この時期の労務研修により必要な労務管理の準備を周到に進めるためにも、また、法令の変更情報や労務管理で特に注意すべき要点の理解習得となる貴重な研修でした。

演題 「平成26年度主な労働関係改正法について」

講師 片境社会保険労務士事務所 所長 片境 貢氏

- 内容
1. 労働契約法
 2. パートタイム労働法
 3. 労働安全衛生法

★受講感想 ㈱リッチェル 人事課 片岡 直也

労働関係改正法が企業や労働者に与える大きな影響や今後の対応策について学びたく、研修会に参加させて頂きました。改正法施行後に考えられるリスクに対して準備しておくべき事や改善すべき点など、具体例を交えながら教えていただき、とても参考になりました。特にパートタイム労働法の対応やストレスチェックの実施についてのポイントを詳しく知ることができました。労使お互いに働きやすい職場にできるよう、学んだポイントを押さえながら取り組んでいきたいと考えています。



●平成27年度 第1回労務研修会

平成27年6月9日（火）に平成27年度 第1回労務研修会として「ビジネスマナーセミナー」を開催しました。自己紹介から始まり、新入社員から中堅、ベテランまで、又、営業から総務、設計、生産管理、品質関係と幅広い年代、職種の参加となりました。

2人一組になって、本番さながらのお客様対応の練習や名刺交換を混ぜながら、改めて言葉遣いの難しさや、お客様に対する一人一人の役割を再認識できた研修でした。

演題 「ビジネスマナーセミナー」

講師 第一生命保険株式会社
営業推進グループ 課長 麻生 亜矢氏
マナーインストラクター 長原 真由美氏

- 内容
1. 社会人・企業人としての心構え
 2. 職場のエチケット
 3. 職場のコミュニケーション
 4. 来客対応のマナー
 5. 名刺交換の仕方など

★受講感想 武内プレス工業㈱ 製品開発部 山海 大河

就職して1年が経ち、取引先とのコミュニケーションの機会も増えるにつれ、「ビジネスマナー」の基本を理解したいという思いがあり、今回の研修会を受講させて頂きました。社外の方や上司に対する言葉遣いや名刺交換の仕方をはじめ、今まで知らなかった事もたくさん学ぶことができました。またそれらが、企業の信用や成長にも繋がるものであるという事を理解しました。今後は学んだ情報、所作を活用し、業務に取り組んでいきたいと考えております。



名刺交換の実践

夏季経営セミナー開催企画

平成27年7月14日(火)に呉羽ハイツにて43名の参加者を得て平成27年度の「経営セミナー」を開催致しました。当工業会の副会長で延澤総務担当役員から、開会のご挨拶と講師の方々のご紹介の後、第1部では、阪神化成工業(株)の医薬品容器製造に関わる「改善活動から見えてくるモノづくり、ヒトづくり」を披露して頂きました。

又、第2部では(株)コージン 会長小柴様より女性ならではの視点から「女性の活用を通じての人づくりや地域との関わり大切さ」を楽しく語って頂きました。

最後に、門前総務委員長より講師の方々、聴講された参加者へのお礼と、引き続き当工業会総務委員会の各事業への参加のお願いがあり、無事閉会となりました。

【第1部講演】 14:30~15:20

演題 「改善活動から見えてくる製造現場の本質」
モノづくり、ヒトづくり
講師 阪神化成工業(株) 阪神グループ 工場統括本部
本部長 吉井 茂雄氏

【第2部講演】 15:30~16:30

演題 「明日の笑顔のために 挑戦・飛躍」
講師 (株)コージン 会長 小柴 順子氏



富山県ものづくり総合見本市2015

平成27年4月23日(木)から4月25日(土)の間、富山産業展示館、富山市体育文化センターにて『~とやまとつながる新たな世界~』をテーマに「富山県ものづくり総合見本市2015」が開催された。これは、ものづくり富山の製品を国内外へ積極的に発信して県内企業の販路拡大や、企業や大学の優れた技術を県民が見て触れることで、県内企業への優秀な人材の確保に繋げることを目的としている。

当工業会から8社の会員企業が参加し高校生や大学生に自社製品の素晴らしさを伝えたり、海外企業と商談をしたりと、今後が大いに期待される展示会であった。



優良企業視察研修会

視察先：(1) 兵神装備(株) (2) (株)日に新た館 (株)ダイフク滋賀事業所内)

平成27年5月14日(木)に、滋賀県へ日帰りのバスツアーによる企業視察を実施しました。参加者からは経営方針(儲かる仕組み)や管理技術面、人材育成等について数多くの質問があり、今後の各企業の発展に活かしたいと非常に有意義な研修となった。

★視察感想

◇「兵神装備(株)を視察して」

阪神化成工業(株) 品質保証課 城川 健一

この度、優良企業視察研修会にて兵神装備(株)滋賀事務所様に訪問させていただきました。

見学させていただいた滋賀工場では、5Sや改善活動に取り組まれているだけではなく、ショールームと思われるような、工場の見える化や、地域環境を考慮した建屋や、作業する人に配慮した作業室など、品質だけに止まらない意識の高さに驚かされました。

この意識の高さは、教育訓練などの将来を見据えた人材教育の成果であることを説明され、人材が優秀な企業を作り上げるということを改めて感じました。

今回の研修会で得た経験を、日々の業務に生かせるよう、日々研鑽に努めたいと思います。

◇「(株)日に新た館 (株)ダイフク滋賀事業所内)を視察して」

(株)コージン 営業技術課 砂子 哲也

この度、優良企業視察研修会にて70年以上にわたって物流の技術を構築されている(株)ダイフク滋賀事業所を訪問させていただきました。

40万坪の敷地内にある製造工場、展示場、業界No.1のメガソーラ等のスケールの大きさには大変驚くと共に、1957年から世の中に送りだされているマテハンの技術は日本のものづくりに限らず世界中の物流業界を先導していることが展示会場の自動車組立てラインやピッキングシステムを見学して理解できました。

BCP(事業継続計画)についてのお話しでは企業として災害発生時の危機管理への意識が高く、自社のシステムを構築されている点は見習うべきところが多々あり、是非自社へ持ち帰り参考にさせて頂いた内容でした。

工場視察で得られた気づきを感じることで、今後の業務や工場の改善に少しでも活かしたいと考えています。



移設後の押出成形機関連設備の設置状況

平成27年6月9日(火)、昨年(株)トヨックス様のご厚意により富山県工業技術センターから移設された『押出成形機関連設備・治具等』一式の生産環境が整い、押出成形研究会の皆さんと設置状況について立ちあいました。

倉庫の一角が成形室、休憩室に仕切られ安全面、環境面共に配慮されておりました。又、周辺機器、ユーティリティー関係も完備されており、今後の試作、予備実技、実技検定と問題なく行えることが確認できました。

(株)トヨックス様には、今回の多大なご配慮、ご厚意に改めてお礼申し上げます。



研修講習事業報告

ブロー成形実技講習

と き：平成27年1月19日(月)～22日(木)

ところ：ポリテクセンター富山

講師：旭井 富士夫氏

参加者：1級4名 2級4名



レベルアップ研修会

と き：平成27年4月6日(月)～23日(木)

ところ：ポリテクセンター富山

参加者：29名



射出成形実技講習

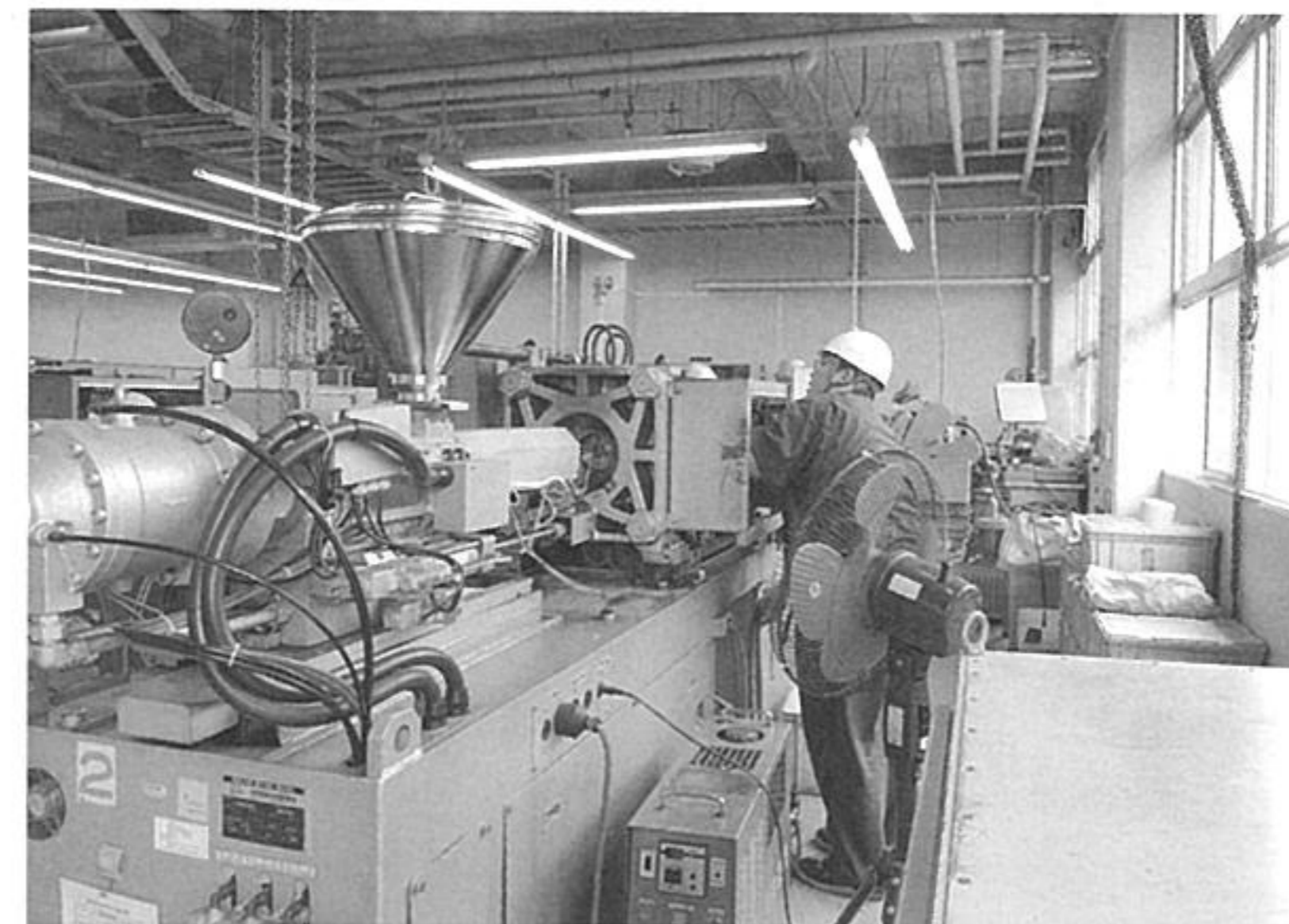
と き：平成27年5月11日(月)～6月30日(火)

ところ：ポリテクセンター富山

講師：旭井 富士夫氏

渋谷 巽氏

参加者：1級31名 2級55名



射出成形学科講習

と き：平成27年7月25日(土)

ところ：ポリテクセンター富山

講師：林 盛彦氏

参加者：1級13名 2級44名



会員広場

優良従業員表彰

平成27年5月28日(木)に富山第一ホテルにて表彰式があり、12社から16名の方が優良従業員表彰を受章されました。誠にありがとうございます。

表彰式では高田新会長より永年に渡る貢献への労いと、今後も健康に留意し一層の活躍を期待する挨拶、来賓を代表して(公財)富山県新世紀産業機構 海野 進専務理事より、プラスチック業界が県産業に果たす役割と発展を期待する祝辞の後、三光合成の佐藤律子さん他15名が表彰されました。



高田新会長より表彰状授与

氏名	企業名
浦田 理香	五栄化学工業(株)
轡田 征信	(株)碓井製作所
黒淵 博志	阪神化成工業(株)
佐藤 律子	三光合成(株)
滝上 明子	(株)リッチェル
滝脇 一孝	ミュキ化成(株)
東海 良一	三協化成(株)
中川 太	(株)コージン
西田 幸一	(株)トヨックス
新田 宗玄	(株)トヨックス
藤 和子	(株)大樹
藤永 光男	テクノプラス(株)
水木 章夫	三光合成(株)
村本 幸一	ミュキ化成(株)
矢地 雅樹	(株)タカギセイコー
吉江 美代子	(株)コージン

懇親ボウリング大会

平成27年6月27日(土)、ボウリング会場カエトロブーム小杉店に、16社26チーム130名の男女が9時開場と同時に押し寄せ、会場は早くも熱気に包まれ戦闘モードに入っていた。

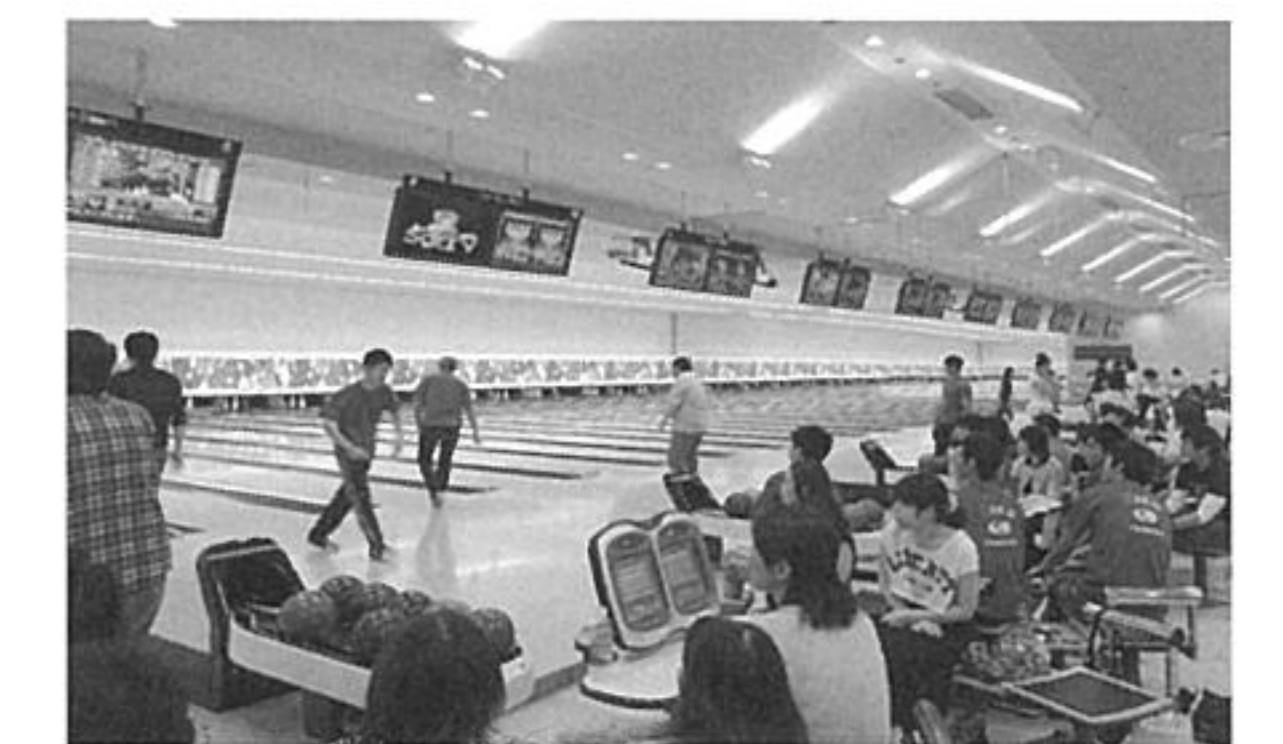
それはエントリーの勢いからも感じられ、あっという間に全レーンが埋ってしまう今までにない申し込みの状況であった。

今回は、12名の技能実習生も加わり国際色豊かな親善交流にも一役かった懇親会となった。

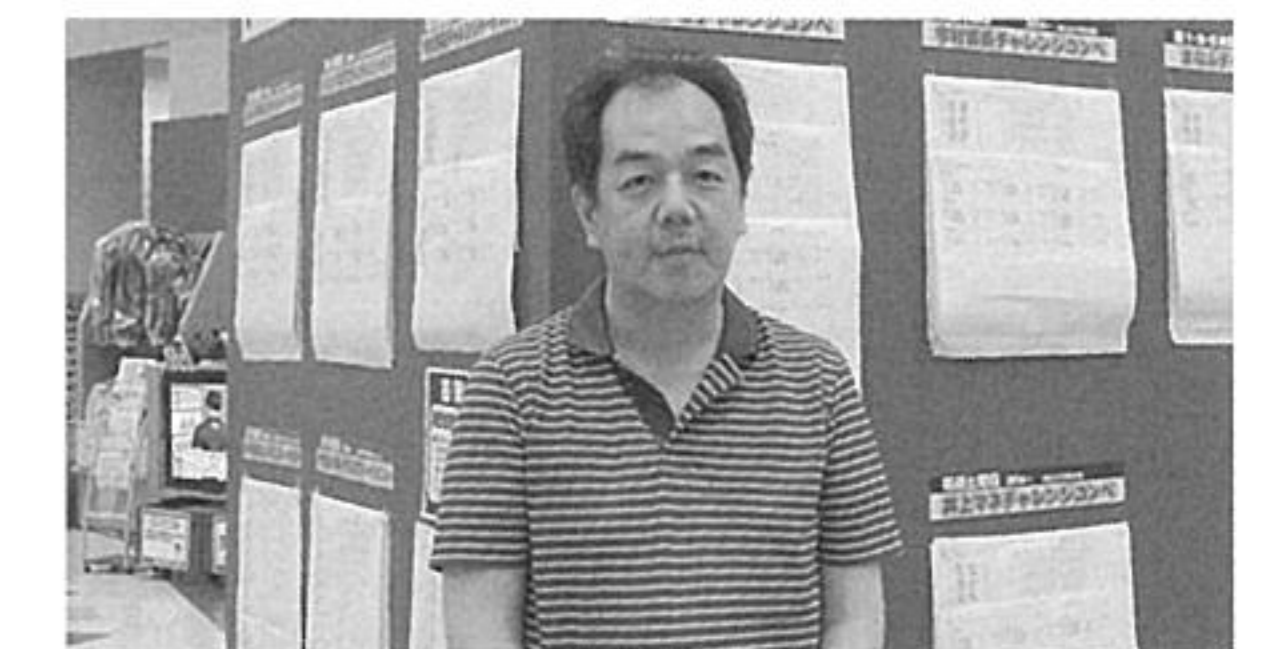
定刻には、総務委員ボウリング大会担当 浅谷さんの大会運営のルール説明の後、練習ボールそして試合開始の合図と同時に、各レーンから第一投がストライクめがけて投げられた。

ストライクやスペアにガッツポーズやハイタッチと、終始にこやかな雰囲気な中、2ゲームが終了し、団体戦、個人戦の表彰式に移った。

団体の部優勝は「オールドリッチェル」チーム、個人の部優勝は(株)リッチェルの堀田裕二さんの頭上に輝いた。団体戦9賞、個人戦22賞の飛賞も含んでの表彰となり、無事大会を終了した。



団体の部優勝
(株)リッチェル オールドリッチェルチーム



個人の部優勝
(株)リッチェル 堀田 裕二さん

団体の部 (1チーム5名 計10ゲーム)

	チーム名	企業名
優勝	オールドリッチェル	(株)リッチェル
準優勝	ホワイトジャンボール	シロウマサイエンス(株)
3位	チームミュキ	ミュキ化成(株)
4位	三光T&E	三光合成(株)
5位	ティームHANSIN	阪神化成工業(株)

個人の部 (2ゲーム)

	氏名	企業名
優勝	堀田 裕二	(株)リッチェル
準優勝	西村 麻里子	三光合成(株)
3位	谷端 美由紀	阪神化成工業(株)
4位	会沢 浩一	(株)リッチェル
5位	立野 静雄	東洋化工(株)

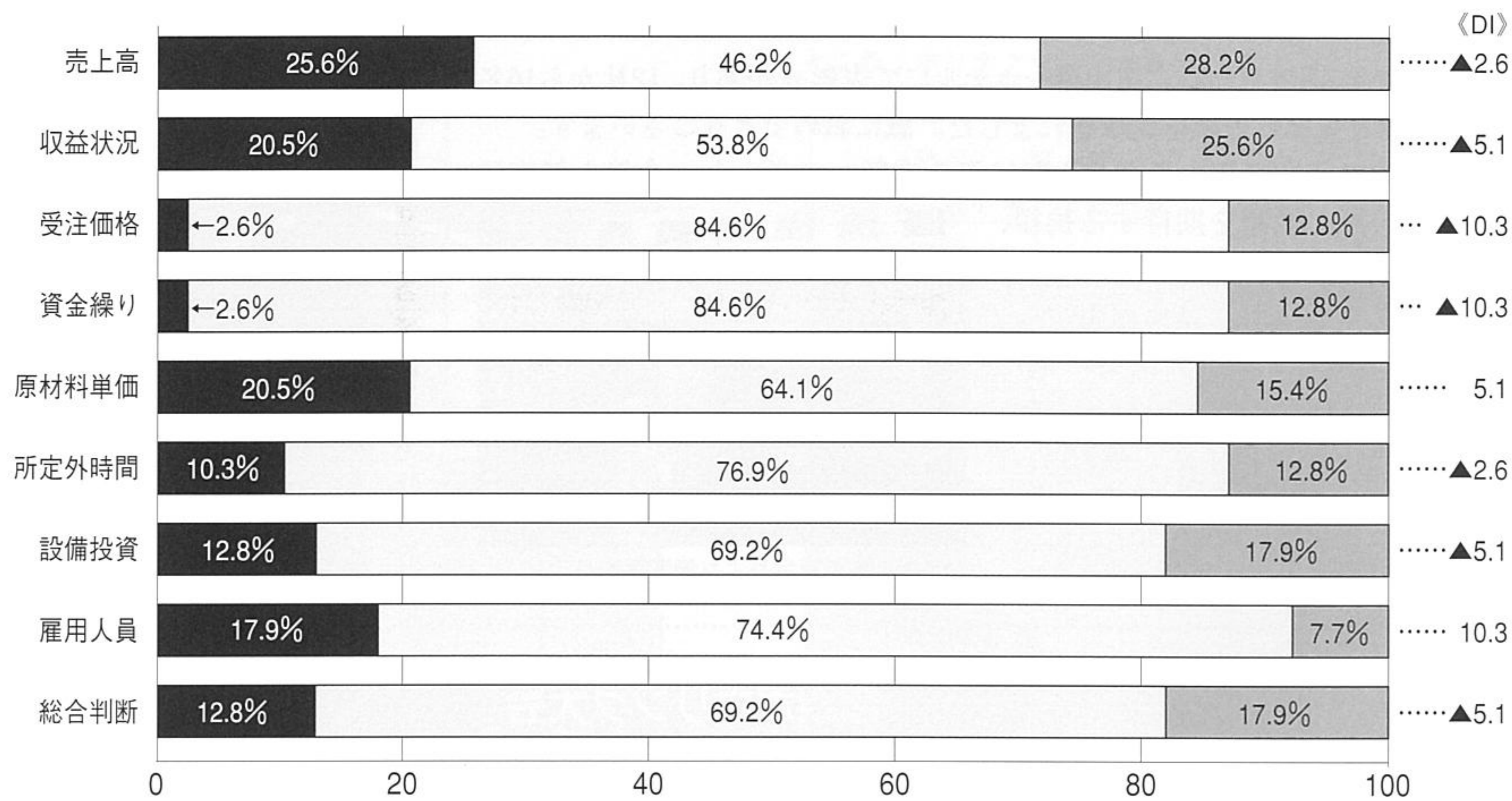
会員企業による景況調査

最近の実績

平成27年4月～27年6月/前年同期比

■ 増加・好転・上昇 □ 変わらず ▨ 減少・悪化・低下

調査項目

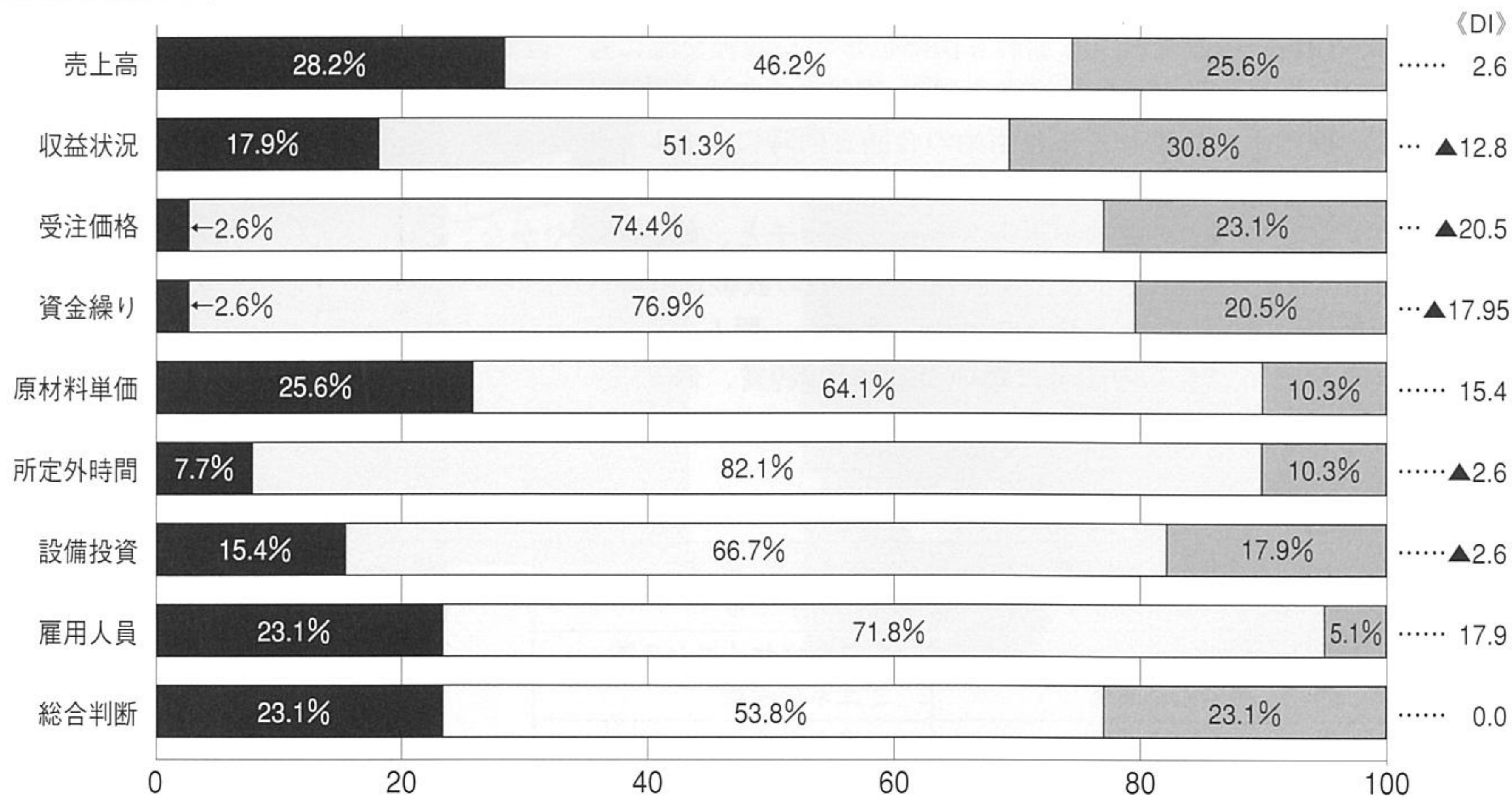


今後の見込み

平成27年7月～27年9月/前年同期比

■ 増加・好転・上昇 □ 変わらず ▨ 減少・悪化・低下

調査項目



雇用について

①27年4月の学卒者入社実績

ある	43.6%
ない	56.4%
未定	0.0%

②27年4月～9月の中途採用実績・予定

ある	61.6%
ない	25.6%
未定	12.8%

③27年4月～9月の雇用削減実績・予定

ある	10.3%
ない	82.0%
未定	7.7%

円安基調の影響について

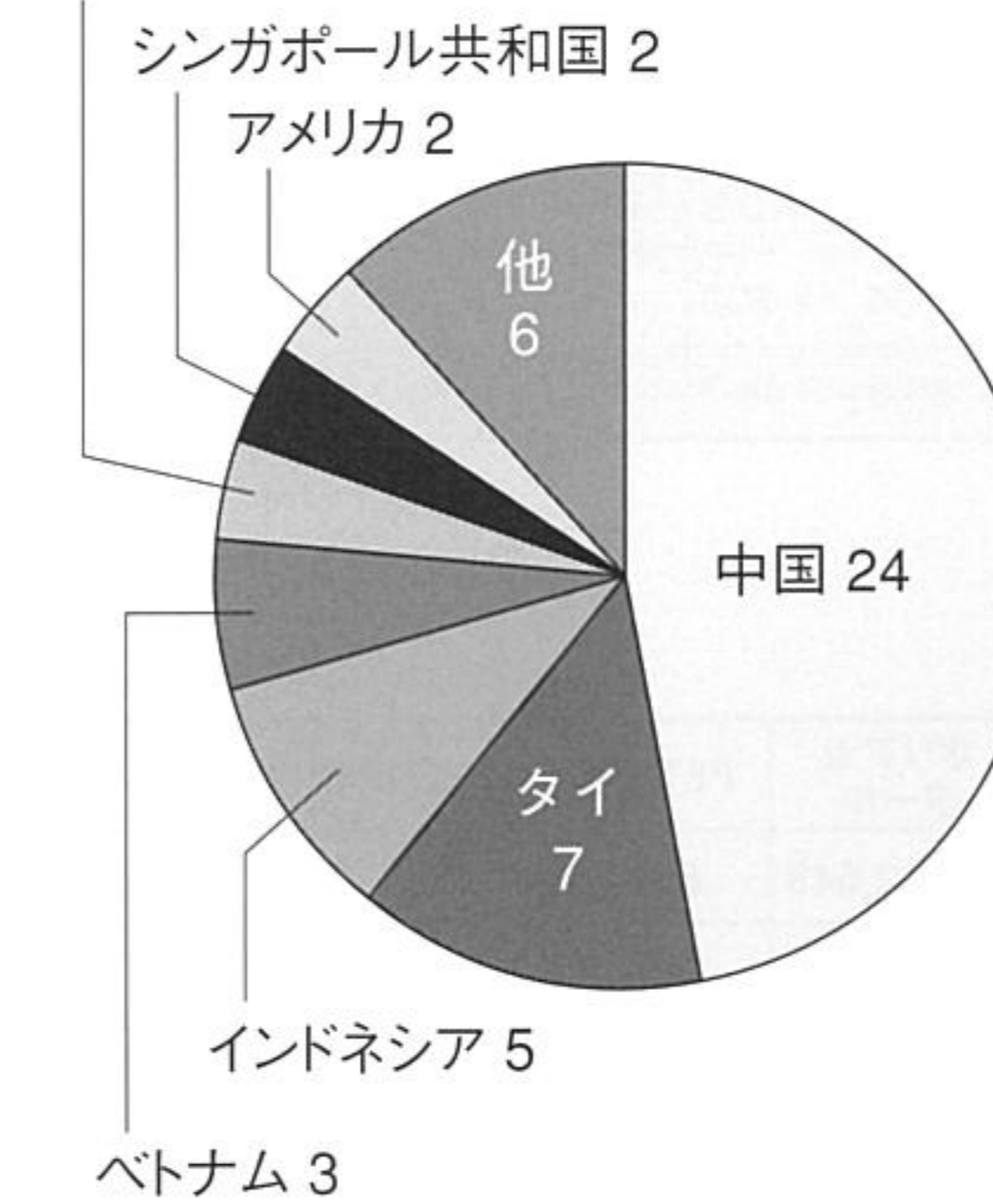
プラスの影響をうけている	0.0%
影響はない	38.5%
プラス、マイナス両方の影響を受けている	28.2%
マイナスの影響をうけている	33.3%

今後概ね6か月間の為替変動(対米ドル)の見通しについて

概ね120円/\$～130円/\$	61.5%
概ね110円/\$～120円/\$	30.8%
概ね100円/\$～110円/\$	7.7%
概ね90円/\$～100円/\$	0.0%

現在、海外に進出、事業展開している国について (回答企業:16社)

韓国 2



(進出地域別)

中国	タイ	シンガポール共和国
上海市 5	アユタヤ 2	シンガポール 2
蘇州市 3	アマタシティ 1	アメリカ
東莞市 2	アマタナコン 1	テキサス州 2
大連市 2	ラヨン 1	他 1
惠州市 1	サムットプラカーン 1	その他の国
威海市 1	他 1	フィリピン 1
深圳市 1	インドネシア	インド 1
天津市 1	ジャカルタ 2	マレーシア 1
武漢市 1	バンテン州 1	イギリス 1
佛山市 1	他 2	ハンガリー 1
珠海市 1	ベトナム	メキシコ 1
常州市 1	ホーチミン 3	
香港 1	韓国	
広州市 1	ソウル市 1	
江蘇省 1	他 1	
広東省 1		



プラスチック関連データ

■加工機械生産実績

金額：百万円

	合計		射出成形機										押出成形機				ブロー成形機	
	計		型締力100t未満		型締力100t以上200t未満		型締力200t以上500t未満		型締力500t以上		本体		付属装置		本体			
	台数	金額	台数	金額	台数	金額	台数	金額	台数	金額	台数	金額	台数	金額	台数	金額		
H22	12,984	147,369	11,180	115,147	4,454	27,599	4,087	33,919	2,151	32,467	488	21,162	399	11,290	861	8,733	544	12,199
H23	13,319	173,032	11,411	125,212	4,221	26,823	4,426	38,041	2,195	33,232	569	27,116	472	23,946	901	11,964	535	11,910
H24	13,523	183,827	11,519	133,827	4,109	26,256	4,433	39,934	2,333	33,546	644	34,091	425	25,505	983	10,963	596	13,532
H25	12,667	176,000	10,765	129,486	3,499	21,742	4,103	37,971	2,514	36,674	649	33,099	449	18,927	806	9,320	647	18,267
H26	13,708	193,780	11,739	143,209	3,593	23,910	4,844	45,297	2,568	38,322	734	35,680	484	22,339	865	10,394	620	17,838
H26.11月	959	12,562	839	10,897	274	1,965	326	3,022	177	2,707	62	3,203	24	750	68	290	28	625
前年同月比%	101.4	96.8	104.6	117.0	107.5	128.1	95.3	91.6	120.4	125.0	106.9	138.5	96.0	58.6	91.9	23.8	62.2	53.8
H26.12月	1,117	19,064	937	12,446	311	2,055	323	3,265	226	3,279	77	3,847	43	3,132	86	1,851	51	1,635
前年同月比%	108.4	121.3	115.1	110.2	115.6	114.5	111.8	123.4	124.2	117.9	104.1	94.5	104.9	282.2	76.8	140.2	81.0	81.9
H27.1月	1,033	13,754	924	11,066	272	1,700	371	3,422	224	3,392	57	2,552	30	491	42	937	37	1,260
前年同月比%	109.4	97.6	115.4	104.7	119.8	115.5	117.0	117.1	123.1	127.1	76.0	72.8	65.2	37.9	82.4	100.9	80.4	97.0
H27.2月	1,262	17,175	1,057	13,609	318	2,092	402	3,959	273	4,291	64	3,267	40	923	109	646	56	1,997
前年同月比%	113.3	112.7	110.8	112.8	115.2	111.1	95.7	91.4	140.7	164.9	100.0	100.6	108.1	78.7	143.4	82.7	119.1	164.6
H27.3月	1,408	22,895	1,197	15,329	360	2,349	481	4,433	284	4,353	72	4,194	62	5,143	97	847	52	1,576
前年同月比%	102.6	108.7	107.5	109.8	103.2	105.5	106.2	107.9	121.4	120.8	92.3	104.4	81.6	153.7	96.0	61.0	64.2	66.3
H27.4月	1,181	17,610	1,041	13,071	307	2,116	417	3,880	249	3,849	68	3,226	39	3,173	67	438	34	928
前年同月比%	105.8	116.8	104.6	101.2	89	79.9	106.1	98	123.9	107.5	121.4	118.5	121.9	410.5	155.8	236.8	73.9	76.7
H27.5月	1,097	14,837	954	11,508	294	1,924	364	3,595	241	3,655	55	2,334	34	1,200	63	254	46	1,875
前年同月比%	95.1	98.3	96.8	106.2	89.1	97.2	91.7	99.3	116.4	122.2	105.8	103.7	85.0	46.7	85.1	75.1	86.8	138.9

■原料生産実績

単位：トン

	計	フェノール樹脂	ポリエチレン	ポリスチレン	ポリプロピレン	メタクリル樹脂	塩化ビニル樹脂	ポリカーボネート	ポリアセタール	PET樹脂	PBT樹脂	その他樹脂
H22	12,275,714	284,151	2,963,443	1,384,707	2,709,023	215,279	1,749,016	369,270	142,643	631,101	187,120	1,639,961
H23	11,237,030	276,078	2,834,368	1,275,470	2,448,358	202,560	1,529,060	300,653	138,500	565,469	178,714	1,487,800
H24	10,539,548	274,564	2,604,904	1,167,702	2,390,256	172,554	1,330,785	316,797	123,954	472,061	182,168	1,503,803
H25	10,579,334	287,515	2,630,960	1,189,070	2,248,199	162,512	1,486,633	309,208	122,958	526,163	159,942	1,456,174
H26	10,570,102	284,080	2,639,042	1,162,553	2,348,567	150,293	1,476,748	303,813	115,658	463,366	174,126	1,451,856
H26.11月	884,235	23,322	231,406	96,979	202,323	11,841	120,610	25,018	4,018	37,410	9,544	121,764
前年同月比%	93.7	94.1	97.7	94.4	93.1	82.0	97.1	87.5	60.8	86.7	72.5	92.0
H26.12月	938,451	22,711	238,417	96,467	207,837	11,693	142,288	27,173	10,336	43,008	15,890	122,631
前年同月比%	97.4	93.4	98.2	87.9	97.9	96.0	107.8	93.1	87.9	102.6	90.1	94.4
H27.1月	960,632	22,677	228,719	100,073	237,964	12,878	140,981	27,374	11,002	40,703	16,981	121,280
前年同月比%	96.4	98.7	91.1	92.0	97.9	121.7	103.2	101.4	98.3	102.6	105.0	93.6
H27.2月	861,264	22,671	209,032	87,111	198,883	12,859	134,350	23,673	9,558	31,693	15,679	115,755
前年同月比%	93.9	96.5	91.0	83.1	92.8	102.9	100.0	98.8	101.3	107.8	107.6	96.1
H27.3月	879,732	24,755	207,612	89,359	210,836	13,241	144,393	21,497	6,811	32,607	14,464	114,157
前年同月比%	101.5	100.0	98.2	100.7	104.1	89.2	120.3	80.6	78.1	99.7	92.5	94.8
H27.4月	879,092	23,963	218,507	103,830	191,430	13,290	130,577	23,761	7,668	39,557	13,923	112,586
前年同月比%	101.2	97.4	111.6	108.2	89.2	94.2	107.7	112.9	70.0	108.7	86.7	95.8
H27.5月	841,305	20,845	186,107	95,436	198,052	13,809	125,947	29,236	10,191	40,128	17,694	103,860
前年同月比%	100.4	92.1	84.1	102.7	125.7	102.0	112.3	110.2	87.6	95.8	108.9	85.6

■製品生産実績

単位：トン

	計	機械部品①～③										日用品・雑貨	容器		建材	発泡製品	強化製品	その他
		フィルム	シート	板	合成皮革	パイプ	継手	計			中空成形容器		その他の容器					
								①輸送機械部品	②電気通信部品	③その他部品								
H22	5,338,574	2,192,799	235,454	129,499	53,483	385,322	54,804	664,620	415,018	193,618	55,984	263,130	601,810	247,652	263,719	292,592	65,784	270,125
H23	5,679,777	2,153,034	245,715	131,248	51,068	392,232	58,068	605,843	393,415	161,971	50,457	278,925	578,975	283,274	274,915	292,110	66,937	267,433
H24	5,858,551	2,165,469	236,637	127,631	51,154	434,609	57,616	685,013	484,324	147,689	53,000	303,050	551,614	316,352	288,173	294,402	66,515	280,316
H25	5,975,043	2,282,078	242,043	124,575	50,146	480,706	60,783	678,648	485,251	140,425	52,972	297,110	541,007	262,131	305,268	276,250	73,771	300,527
H26	5,708,219	2,197,776	237,113	107,571	53,058	432,057	56,839	644,768	476,051	118,570	50,147	291,262	508,908	273,139	312,066	250,646	70,481	272,535
H26.11月	476,900	190,762	19,396	8,554	4,497	37,591	4,598	51,431	38,064	9,299	4,068	24,377	36,566	22,520	25,364	22,013	5,713	23,518
前年同月比%	91.8	94.6	94.3	80.4	99.0	88.5	87.2	86.9	89.5	76.8	90.2	95.3	90.6	96.4	91.7	83.2	95.0	91.8
H26.12月	460,057	177,767	18,760	8,599	4,518	37,383	4,618	52,246	38,631	9,457	4,158	25,178	34,090	22,012	24,545	21,073	5,643	23,625
前年同月比%	93.1	93.8	92.0	83.3	103.3	87.7	94.6	91.8	94.7	80.8	94.1	95.0	96.4	103.0	92.3	86.5	90.3	96.2
H27.1月	431,019	166,790	18,265	8,237	4,436	34,267	3,710	51,517	38,608	8,842	4,067	21,004	33,679	21,169	22,012	18,962	5,448	21,523
前年同月比%	96.9	98.6	106.9	95.8	99.9	91.5	83.7	92.4	91.8	91.4	101.0	98.0	96.2	104.4	91.6	98.0	94.3	98.5
H27.2月	443,937	169,089	18,751	8,230	4,609	34,980	3,861	52,205	38,692	9,198	4,315	22,759	36,647	20,947	24,710	18,452	5,902	22,795
前年同月比%	94.7	97.3	102.7	86.3	104.2	87.3	76.8	91.9	90.5	92.8	103.6	98.8	90.9	97.4	93.5	89.9	96.5	98.8
H27.3月	478,241	185,927	19,370	8,974	4,982	34,384	4,246	54,861	40,802	9,717	4,342	24,714	41,147	23,626	26,218	19,768	6,135	23,889
前年同月比%	93.3	97.2	98.1	86.9	107.7	77.4	75.6	94.4	93.6	94.5	102.3	98.4	86.9	94.6	91.8	91.1	96.2	98.4
H27.4月	475,710	190,887	20,324	10,053	4,644	22,276	3,429	53,491	39,170	9,956	4,365	26,197	44,087	24,824	25,718	20,352	5,573	23,855
前年同月比%	96.3	100.4	103.8	103.4	102.3	67.9	69.1	98.8	99.2	95.9	102.8	99.9	90.2	102.2	93.6	95.4	96.2	98.5
H27.5月	437,177	175,403	16,935	8,763	3,940	25,625	3,237	45,127	32,043	9,197	3,887	22,973	46,238	20,444	21,765	19,186	5,566	21,975
前年同月比%	93.6	96.7	89.4	92.9	92.7	93.1	72.5	86.9	84.2	92.8	97.4	94.8	94.7	92.3	85.6	97.7	97.0	94.3

(経済産業省データ加工)

